



第6期宮前区区民会議 第3回地域福祉部会（仮称）

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成28年10月24日（月）18:00

宮前区役所4階第1会議室

次 第

1 議事

- (1) これまでの地域福祉部会の審議経過確認
- (2) 先進事例等の検討

2 その他の連絡事項

今後の日程について

第4回地域福祉部会 11月28日（月）18時 会場：第1会議室

配布資料目次

- 資料1 委員名簿
- 資料2 第6期スケジュール案
- 資料3 これまでの審議経過
- 資料4 学びのポイントラリーについて
- 資料5 学びのポイントラリーパンフレット
- 資料6 民間交番SBサルビアについて

第6期宮前区区民会議 委員名簿

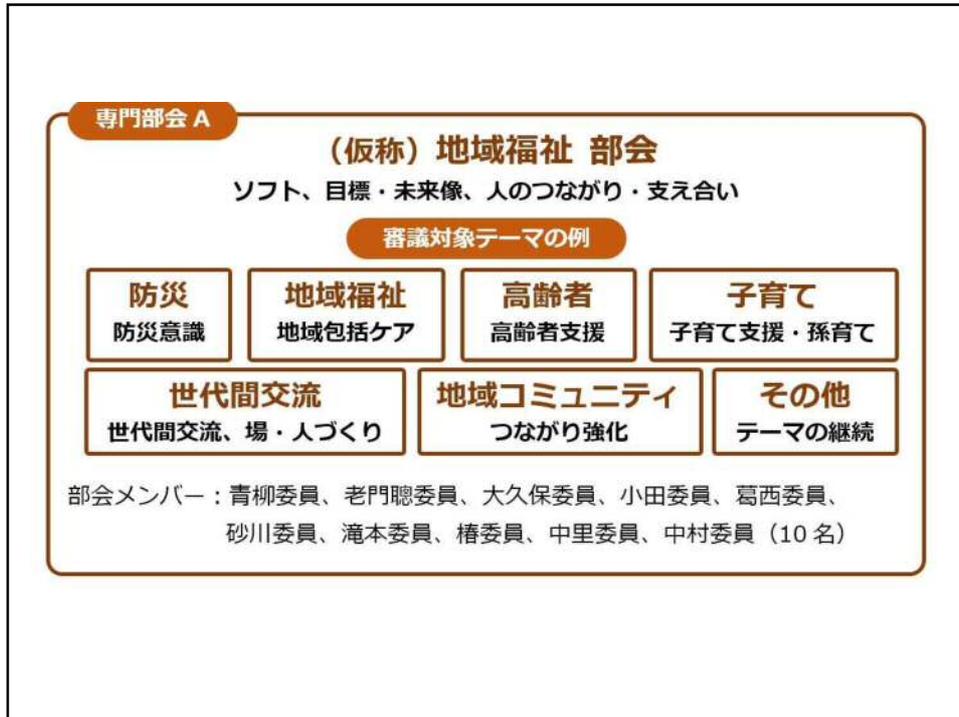
資料1

氏名	新任／再任	役職	所属部会	分野・団体名
カワダ カズコ 川田 和子	再	委員長		①防災・地域交通 宮前区自主防災組織連絡協議会
アオヤギ カズミ 青柳 和美	再	副委員長	地域福祉部会	区長推薦
オイカド トシコ 老門 聰子	新			③子育て・教育 宮前区こども・子育てネットワーク会議
ナカザト フミオ 中里 文雄	再	部会長		③子育て・教育 宮前区民生委員・児童委員協議会
ツバキ マサミ 樫 雅美	新			③子育て・教育 宮前区地域教育会議
スナガワ テツオ 砂川 徹夫	新			⑤産業・まちの活力 宮前区商店街連合会
ナカムラ フサヨ 中村 布佐子	新			⑥文化・観光 宮前区文化協会
タキモト クミ 滝本 久美	再			⑧地域特性 みやまえ情報ラボ
オオクボ マサカツ 大久保 正克	新			公募
カサイ イクコ 葛西 育子	再			区長推薦
オダ イクコ 小田 育子	再			区長推薦
カゲヤマ イシロウ 影山 亥史郎	新	副委員長	地域活性部会	④自然・生活環境 グリーンフォーラム21みやまえ世話人会
オイカド タイソウ 老門 泰三	新			②福祉・健康 社会福祉法人宮前区社会福祉協議会
オオキ ジロウ 大木 次郎	再			②福祉・健康 宮前区スポーツ推進委員会
ヤマダ カツラ 山田 桂	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（宮前地区）
クロサワ カツミ 黒澤 克實	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（向丘地区）
タナベ ヨウイチロウ 田辺 洋一郎	再			⑧地域特性 宮前区まちづくり協議会
ヤマベ キヨミ 山部 清美	新			公募
アラカワ ヨウコ 荒川 洋子	新			公募
サトウ タカフサ 佐藤 貴房	新	部会長		公募

第6期宮前区区民会議の進行イメージ

資料 2

年度	月	進行の目安	全体会・部会等の開催	備考
28	4		4/20 事前打ち合わせ会	
	5	地域課題の検討 テーマ分野・分類の絞り込み	5/20 第1回全体会	委嘱状交付 各委員から課題発表
	6		6/13 第1回準備部会	委員からテーマ出し
	7		7/14 第2回準備部会	専門部会構成案作成
	8	専門部会発足 (仮称)で始動 各テーマの現状 調査、目指すべき姿、理想像の 確認	8/4 第2回全体会	専門部会立上げ
	8		8/29 地域福祉部会① 8/30 地域活性部会①	部会テーマの更なる 絞り込み
	9		9/16 地域福祉部会② 9/9 地域活性部会②	
	9		9/30 企画部会(1)	
	10	解決すべき課題 の洗い出し、先進事例の リサーチなど	10/6 第3回全体会	
	10		10/24 地域福祉部会③ 10/27 地域活性部会③	
	11		11/28 地域福祉部会④ 12/2 地域活性部会④	先進事例・現地視察等
	12		12/22 企画部会(2)	
1	フォーラムの企画・準備など	1/13 第4回全体会		
2		2/1 地域福祉部会⑤ 2/3 地域活性部会⑤	2/6 区民会議交流会	
		2/24 企画部会(3)		
	3	3月中旬頃 区民会議フォーラム		
29	4	課題解決に資する 取組提案の検討	地域福祉部会⑥ 地域活性部会⑥	
	4		地域福祉部会⑦ 地域活性部会⑦	
	5		企画部会(4)	
	6		第5回全体会	
	7		地域福祉部会⑧ 地域活性部会⑧	
	7		地域福祉部会⑨ 地域活性部会⑨	
	8	取組提案の試行 と検証など	企画部会(5)	
	9		第6回全体会	
	10		地域福祉部会⑩ 地域活性部会⑩	
	11		企画部会(6)	
	12		第7回全体会	
	12		区長への提案	
1	第6期の総括	企画部会(7)		
2	フォーラムの企画・準備	第8回全体会		
2		企画部会(8)		
3		区民会議フォーラム		



第2回会議の話題①

多世代と地域をつなぐ、地域に近づける

孤独化

- 地域友達がない
- 一人で留守番、
- 独居、こもりがち

地域の希薄化

- 地域行事に不参加
- 地域活動の縮小
- 地域資源を知らない

居場所づくり

- 日中・夜間
- 地域との接点

学習支援

- 地域力の活用
- 地域が指導

貧困

- 負の連鎖の防止

第2回会議の話題②

地域の縁側

地域への導入、
相談、情報提供
など

地域人材活用

世代交流
関係づくり
担い手育成
など

活動・行事 の周知・広報

魅力の認知
地域への愛着醸成へ

寺子屋事業、わくわく、
こども文化センター、学習支援、
子ども会、自治会町内会、自主保育、

第2回会議の話題③

第3の大人・第3の居場所づくり

事例：民間交番 セーフティーボックスサルビア

地域ボランティアで運営、地域への導入・案内

事例：学びのポイントラリー

地域に学ぶ地域学習のしかけ シール等で動機づけ
学校との連携の推進 地域との調整役が必要

第5期提案「ハテナノタネ」

地域の学び推進機構「学びのポイントラリー」



「学びのポイントラリー」とは

子どもたちが「社会の中で自立して豊かに生きていく力」をつけるためには、学校教育、家庭教育、民間教育（塾、習い事など）だけでは、十分とは言えません。地域の中で、社会のさまざまな人たちと関わりながら学ぶ機会が必要です。また、学校週五日制が実施されて、土曜日や長期休暇には、地域にも充実した学びの場が求められています。

そこで地域の学び推進機構（以下、機構）は、地域教育を活性化するために、「学びのポイントラリー」制度を提案し、各地域でその実現を目指しています。自治体、市民団体、NPO、民間企業、大学などが地域で実施している子どものための教育プログラムがたくさんあります。それらを登録して学校などを通じて子どもたちに紹介し、ポイントラリーのように、多様なプログラムへの参加を促すのがこの制度です。

2005 年度に東京都ではじまり、登録団体数・プログラム数ともに増えています。さらには、奈良、京都、岡山など他地域にも広がりを見せています。

「学びのポイントラリー」のしくみ

- ①プログラム実施団体は、自治体、市民団体、NPO、民間企業、大学、地域の施設などです。
- ②機構がプログラムをリストに登録します。これらは機構のホームページで見ることができます。
- ③子どもたちは、放課後、休日、長期休暇などに、プログラムを選択して参加します。参加するとポイントカードにスタンプが押されます。
- ④40ポイントごとに機構に申請すると認定証が発行されます。

プログラムの種類とポイント数

■プログラムに参加するともらえるポイント

小中学生対象のプログラムと、高校生対象のプログラムがあります。
プログラムの分野は、下記の4領域とします。

- A) 教科学習に関するもの（学校の授業の補充・発展）
- B) 文化・スポーツに関するもの
- C) 市民生活、社会参加に関するもの（ボランティア活動を含む）
- D) 職業理解、職業体験、職業選択などに関するもの

1日あたり

- 1時間以上2時間未満・・・1ポイント
- 2時間以上4時間未満・・・2ポイント
- 4時間以上・・・・・・3ポイント

各分野をバランスよく、年間40ポイント取ることを促します。ポイントは年度を越えても有効です。

■作文を書いて送るともらえるポイント

プログラムに参加したときの体験記や、「学びのポイントラリー」についての小論文を機構本部に送るとポイントがもらえます。

参加体験記 個々のプログラムに参加したときの体験についての作文。参加したプログラムと同じ種

類を1ポイント。

小論文 「学びのポイントラリー」全体についての意見や感想をまとめたもの。教科を2ポイント。
作文の標準的な字数は、次の表のとおりです。

	小学生			中学生	高校生
	低学年	中学年	高学年		
参加体験記	200	300	400	600	800
小論文	400	600	800	1200	1600

作文は、年間を通じて随時受け付けます。提出先は、機構事務局です。作文は、原則として手書きとし、返信用の切手を同封のうえ郵送してください(Eメールでは受け付けません)。

ポイントは、シールを返送しますので、自分でポイントカードに貼ってください。

なお、送られた作文は、機構側で、「学びのポイントラリー」の紹介・広報に用いることがありますのでご了解ください。また、優秀な作品に対しては表彰します。

■プログラム運営の手伝いをするともらえるポイント

中学生や高校生が、ポイントラリーのプログラムの実施や運営にボランティアとして参加すると、活動時間に応じてポイントがもらえます。

ボランティアポイント・・・市民のポイントを活動時間に応じた数。

ポイントの取得と認定証

■参加したいプログラムを選びます

機構のブログに載っているプログラム一覧から、参加したいプログラムをえらびます。日時や場所を、あらかじめ確認しておきましょう。

■プログラムに参加します

当日、プログラムに参加します。ポイントカードを持っていき、スタンプを押してもらいましょう。

■参加記録をつけます

ポイントシートに参加記録をつけます。用紙は機構のホームページからダウンロードできます。この用紙は、認定証の裏面に学習の記録として印刷されるので、きれいに書きましょう。

■認定証を申請します

40ポイントたまったら、(内、同じジャンル(色)のポイントは最大35ポイントまで)ポイントカードとポイントシートを機構に送ってください。認定証が発行されます。書類の書き方の詳細は「認定証申請手続き」をごらんください

参加している地域

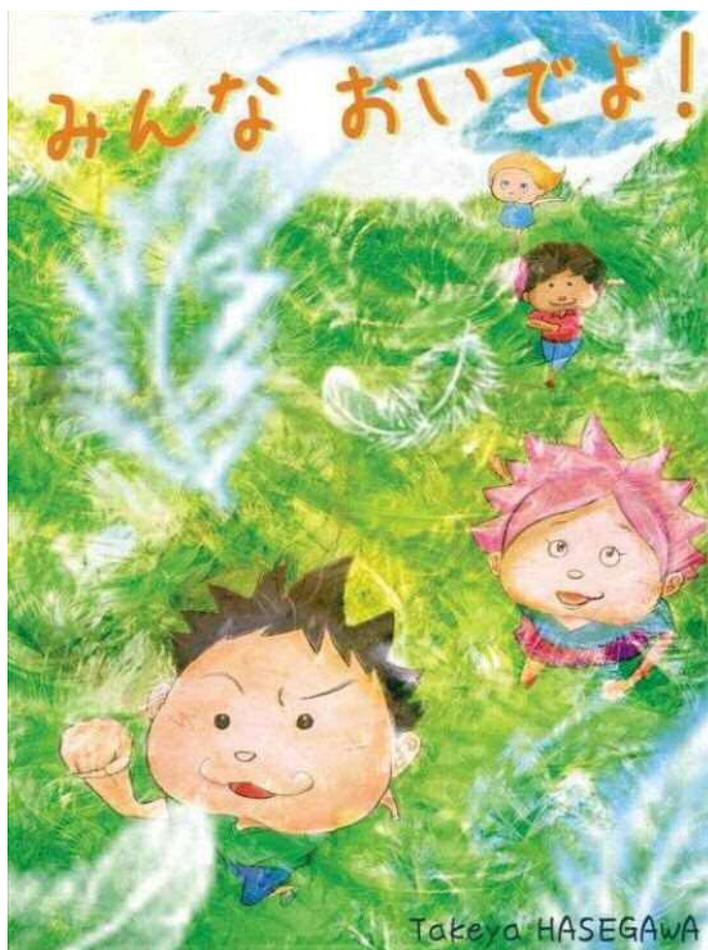
東京都…文京区、江東区、台東区、渋谷区

奈良県…奈良市

京都府…相良郡広域連合(笠置町・和束町・南山城村)

岡山県…井原氏、美咲町、矢掛町

学びのポイントラリー



地域の学び推進機構（東京大学教育学部 市川研究室）

住所 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
E-mail chiiki@p.u-tokyo.ac.jp
WEB <http://www.chiiki-manabi.org/>
TEL 03-5841-3947 / 080-5039-7817
FAX 03-5841-3919

後援 文京区教育委員会、奈良市教育委員会、貝塚市教育委員会
(公財)パナソニック教育財団、(公財)中央教育研究所
(公財)文京アカデミー、(公財)福武教育文化振興財団
凸版印刷(株)



学びのポイントラリーとは

子どもたちが「社会の中で自立して豊かに生きていく力」をつけるためには、学校教育、家庭教育、民間教育（塾、習い事など）だけでは十分とは言えません。地域の中で、社会のさまざまな人たちと関わりながら学ぶ機会が必要です。また、学校週五日制が実施されて、土曜日や長期休暇には、地域にも充実した学びの場が求められています。

そこで地域の学び推進機構（以下 機構）は、地域教育を活性化するために、「学びのポイントラリー」制度を提案し、各地域でその実現を目指しています。自治体、市民団体、NPO、民間企業、大学などが地域で実施している子どものための教育プログラムがたくさんあります。それらを登録して学校などを通じて子どもたちに紹介し、ポイントラリーのように、多様なプログラムへの参加を促すのがこの制度です。

2005年度に東京都ではじまり、登録団体数・プログラム数ともに増えています。さらには、奈良県や岡山県など他地域にも広がりを見せています。

● 学びのポイントラリー

放送大学『学力と学習支援の心理学』の第14回「地域に広がる学習環境」で活動が紹介されています。



学びのポイントラリーのしくみ

- ①プログラムの実施団体は、自治体、市民団体、NPO、民間企業、大学、地域の施設などです。
- ②機構がプログラムをリストに登録します。これらは機構のホームページで見ることができます。
- ③子どもたちは、放課後、休日、長期休暇などに、プログラムを選択して参加します。参加するとポイントカードにスタンプが押されます。
- ④40ポイントごとに機構に申請すると認定証が発行されます。



プログラムの種類とポイント数

小学生、中学生対象のプログラムと、高校生対象のプログラムがあります。

<分野>

- A) 教科学習に関するもの(学校の授業の補充や深化、発展)
スタンプ緑●
- B) 文化・スポーツに関するもの
(学校では体験しにくい文化・芸術・スポーツなど)
スタンプ赤●
- C) 市民生活に関するもの
(社会問題についての講座やボランティア活動への参加など)
スタンプ青●
- D) 職業理解、職業体験、職業選択などに関するもの
スタンプ黒●

<ポイント数>

- 1時間以上2時間未満・・・1ポイント
- 2時間以上4時間未満・・・2ポイント
- 4時間以上・・・・・・・・・・・・3ポイント

各分野をバランスよく、40ポイント取ることを促します。
ポイントは年度を越えても有効です。

●地域の学び推進機構

それぞれの地域で子ども向けプログラムを提供する団体を支援する組織です。



地域の学び推進機構について

「地域の学び推進機構」は、地域の子どもたちを対象とした教育プログラムの活性化をはかるために設立された市民団体です。子どもたちが地域のプログラムに参加することを促すための「学びのポイントラリー」制度の運営を行っています。

地域教育の活性化のためにともに活動して下さる機構会員や、制度に参加して下さるプログラム実施団体を募集中です。世代を超えた地域の学びの場を一緒に盛り上げていきませんか。

【機構本部事務局】 <http://www.chiiki-manabi.org/>
東京大学教育学部 市川研究室



こんなプログラムがあります

A) 教科学習に関するもの

スタンプ緑 ●

- 科学教室、自然観察
- パソコン教室
- 個別学習相談
- 夏休み学習ゼミナール



● 地域プログラムとは

子どもたちの住んでいる市区町村や校区を対象に企画・実施されているプログラム。

※ただし、他の地域の子どもが参加できるものもあります。

B) 文化・スポーツに関するもの

スタンプ赤 ●

- スポーツ教室：球技、水泳、陸上、ダンス
- 伝統芸能・芸術：茶道、生け花、俳句、演劇
- ゲーム：将棋、創作ゲーム
- 野外活動



詳しくは、ホームページのプログラム一覧をご覧ください。
プログラムの区分は、地域によって異なることがあります。
<http://www.chiiki-manabi.org/programs.html>

C) 市民生活・社会参加に関するもの スタンプ青●

- リサイクル講座
- エコグッズづくり
- ボランティア体験
- プログラムの補助スタッフ



● 全地域共通プログラムとは
特定の市区町村や学区ではなく、広い地域の子どもたちを対象に企画・実施されているプログラム。

D) 職業理解に関するもの スタンプ黒●

- 味噌づくり、豆腐づくり
- 農業体験
- 森林・林業体験
- 遺跡整理作業・拓本体験





こんなポイントもあります

A) 作文ポイント

プログラムに参加したときの体験記や、「学びのポイントラリー」について的小論文を機構本部に送るとポイントがもらえます。ポイントはシールで郵送されます。

- 参加体験記…個々のプログラムに参加したときの体験についての作文。参加したプログラムと同じ種類を1ポイント。
- 小論文…「学びのポイントラリー」全体についての意見や感想をまとめたもの。教科を2ポイント。

【文字数】

	小学生			中学生	高校生
	低学年	中学年	高学年		
参加体験記	200字	300字	400字	600字	800字
小論文	400字	600字	800字	1200字	1600字

●プログラム+αの活用とは

活動を振り返ったり、お手伝いしたりすることで、今後の生活や学びに生かすことを促します。

※作文・小論文は、年間を通して随時受け付けています。

B) 実施ボランティアポイント

中学生や高校生が、ポイントラリーのプログラムの実施や運営にボランティアとして参加すると、活動時間に応じてポイントがもらえます。

(ポイントの種類は市民ポイント、ポイント数は活動時間に応じた数。)

- 台東区で実施されているプログラム
子ども環境委員会の企画立案に参加、実施時の運営のお手伝い
- 奈良市で実施されているプログラム
小学生プログラムの運営お手伝い

など…

C) 作文対象プログラム

世界遺産のような文化施設、または美術館、博物館、科学館、自然公園などに積極的に訪問、見学をして、その体験を作文にすることを促すものです。作文対象プログラムでは、通常のスタンプは押しません。参加者が機構本部に参加体験記（入場券添付）を提出することによって、本部からポイントのシールを郵送します。

※「作文対象プログラム」に指定されている文化施設等は、機構ホームページをご覧ください。

※参加体験記の文字数は、作文ポイントと同じです。

■世界遺産でもある奈良の東大寺がこの制度の第1号として登録されています。

●社会に関心を持つ工夫を…

世界的な温暖化の問題や世界遺産保全、地域の自然や文化活動への関心を促します。

プチエコ・プログラム

世界的な温暖化の危機感から、多様な環境配慮行動の必要性が高まっています。文化活動・スポーツ等、日頃は環境問題とは無縁のイベントに簡単な“環境配慮”の学習を組み込んだプログラムを「プチエコプログラム」として推奨しています。

※ポイントは、通常のプログラムと同じカウントです。

■イベントの模擬店で、使い捨て容器を使用せず、ティッシュリユースを組み込む。

■伝統的な「和綴じノートづくり」にカレンダー等の再利用を組み込む。

など…



こんな使い方ができます

A) 学校を拠点とした活動に…

P T Aや地域の人たちが、放課後や休日の学校で子どものために実施している活動への参加を促します。

- 東京都渋谷区の小学校では、「チャレンジスクール」として、学校を拠点にしたいろいろな講座が登録されています。
- 東京都江東区の小学校では、P T Aが主体となって、週末に行う「ウィークエンドスクール」が登録されています。
- 奈良市の小学校では、放課後子ども教室として「まなびーや」が行われ、登録されています。

● **地域と子どもをつなぐ**工夫に…

社会総がかりで子どもを育てるための、地域の活動をつなげる仕組みに使えます。

B) 自治体などが提供する活動に…

自治体や関連団体等が社会教育施設などで実施している子ども向けプログラムを活用して、子どもを育てるネットワークが生まれます。

- 文京区では、親子環境教室、教育センターのプログラム、(公財)文京アカデミーの夏休み子どもアカデミアなどを登録しています。
- 台東区環境ふれあい館ひまわりでは、環境学習講座を登録しています。
- 奈良市青少年野外活動センターでは、学校と協力し、ウィークエンドスクールを実施しています。

C) 市民団体が提供するイベントに…

市民団体が主体で実施される子ども向けイベントはたくさんあります。イベントと日常のプログラムをポイントで結び、子どもを多様な出会いと体験へいざないます。

- 文京区では「みんな集まれ子どものひろば」「リサイクルイン文京」など、いろいろな団体の多様なプログラムが登録されています
- 台東区では「たいとうリサイクルネットワーク」などが実施するイベントが登録されています。
- 奈良市で実施されている「通学合宿」では、子どもたちが高学年になると、共同生活体験をします。

●地域と子どもをつなぐ工夫に…

学校以外の場で先生や親以外の大人と一緒に色々な体験を通して学ぶ機会をつなぎます。

D) 大学や企業が提供するイベントに…

大学や企業が地域貢献の一環として、子ども向けの講座やイベントを企画しています。

- 東京大学教育学部では、夏休みに「学習ゼミナール」を実施して、中学校を通じて地域の生徒を募集しています。
- りそな銀行は、夏休みに「キッズマネーアカデミー」を実施しています。
- リスピーア（パナソニック）、ガスの科学館（東京ガス）、印刷博物館（凸版印刷）などの展示見学やイベント参加もポイントになります。



ポイントラリーに登録を(実施団体)

※実施団体を募集中です

①団体登録をします(無料)

地域の学び推進機構のホームページから書類をダウンロードして記入し、郵送してください。ポイントラリーに参加している団体として登録し、ポイントカード、スタンプなど必要なものをお送りします。

<http://www.chiiki-manabi.org/download.html>

②プログラム登録をします(無料)

新しいプログラムを実施する際には、機構のホームページから書類をダウンロードして記入し、郵送してください。また、日時や場所等の詳細が決まり次第、最新情報をご連絡ください。インターネットを通じて、子どもたちに広報します。

③参加者にスタンプを押してください

プログラムの当日、参加者のポイントカードにスタンプを押してください。スタンプの種類(色)はプログラムの分野によって、ポイント数はプログラムの時間によって決まります。

(P2「プログラムの種類とポイント」参照)

■ポイントカード



■認定証





ポイントラリーに参加（児童生徒）

①参加したいプログラムを選びます

機構のホームページに載っているプログラム一覧から、参加したいプログラムを選びます。日時や場所をあらかじめ確認しておきましょう。



②プログラムに参加します

当日、プログラムに参加します。ポイントカードを持っていき、スタンプを押してもらいましょう。（一枚のカードには、同じ色のポイントは35個までとします。）



③参加記録をつけます

所定の用紙に参加記録をつけます。この用紙は認定証の裏面に学習の記録として印刷されるので、きれいに書きましょう。参加記録の用紙は、こちらからダウンロードできます。



<http://www.chiiki-manabi.org/download.html>

④認定証を申請します

40ポイントたまったら、ポイントカード、認定証申請用紙、参加記録を機構に送ってください。認定証が発行されます。ポイントは年度を越えても有効です。認定証の申請用紙は、こちらからダウンロードできます。



<http://www.chiiki-manabi.org/download.html>

一緒に活動を（機構会員）

この活動にご賛同いただける方は、ぜひ機構にご入会ください。入会希望の方は、ホームページの案内に従って、メールかファックスでお申し込みください。年会費は下記の通りです。

個人会員：2000円

学生会員：1000円

賛助会員：1口10000円

<http://www.chiiki-manabi.org/admission.html>

主な実施地域と連絡先

東京都	文京区 江東区 台東区 渋谷区	機構本部事務局 chiiki@p.u-tokyo.ac.jp
	小金井市	社会福祉法人恵日会ひなざく保育園内 (小金井地域の学び推進機構) koganei.chiikimanabi@gmail.com
奈良市	奈良市	奈良市青少年野外活動センター (奈良地域の学び推進機構) chiiki-manabi@kcn.jp
岡山県	井原市	井原市教育委員会生涯学習課 0866-63-3347
	美咲町	美咲町教育委員会生涯学習課 0868-66-3086
	矢掛町	矢掛町教育委員会教育課 0866-82-2100
京都府	笠置町 和束町 南山城村	相楽東部広域連合教育委員会 生涯学習課 kyouiku@rengou.jp
大阪府	貝塚市	貝塚市教育委員会学校教育課 0724-33-7118
岩手県	葛巻町	葛巻町教育委員会学校教育室 0195-66-2111(内線274)

登録のご希望や、ポイントラリー全般についてのお問い合わせは、機構本部事務局までご連絡ください。

民間交番「セーフティボックスサルビア」について

①町田市ホームページより

駅周辺の商店街が中心となり、民間交番を設置しました。

建物は市内のロータリークラブが建設し、市に寄贈していただきました。

運営方法は商店会、NPO、PTA、町内会の方々が民間交番運営委員会を設置し、運営方針を決定しています。

民間交番は、周辺地域の防犯パトロールの拠点となっています。

業務内容としては、道案内が主なものですが、振り込め詐欺を未然に防いだこともあります。

住所：町田市原町田 6 丁目 13 番 14 号

(2016 年 5 月より、毎週水曜日を定休日としています。)



地元商店会、自治会・町内会や PTA などが民間交番「セーフティボックスサルビア」を拠点とし、中心商店街の巡回パトロールを実施しています。

月に一度、町田警察署、市・防災安全課、地元商店会、自治会・町内会や PTA などと合同で盛り場対策としてパトロールを実施しています。



②町田市シルバー人材センターホームページより

町田駅近くの繁華街にある民間交番「セーフティーボックスサルビア」は町田市繁華街の活性化と治安維持を目的に、地元商店会や美化協力団体等で組織される【町田市民間交番運営委員会】により、2004 年 11 月 6 日発足し、町田市シルバー人材センターの会員が就業していました。

2012 年 4 月 1 日より町田市民間交番運営委員会の方針変更で町田市シルバー人材センターとの委託契約がなくなり、一般市民によるボランティアとして事業を再スタートし当センターの会員も積極的に参加しています。

【現在の体制】

要員：21 名（一般市民 7 名、シルバー会員 14 名）

時間配分：11:00～15:30 と 15:30～20:00

主な役割：道案内がメインですが落とし物等の問合せ、迷子の対応、けが人の対応などがあります。市民からは 街が明るくなった、安心して歩けるなど 好評を得ています。

